

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成22年度 第5回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成22年10月27日(水)10時00分～12時00分		
開 催 場 所	川西市役所 2階 202会議室		
出 席 者	委 員	生田議長、佐道副議長、小柳委員、渡邊委員、岡田委員、 田中委員、廣末委員、池田委員 計8名	
	そ の 他		
	事 務 局	牛尾教育振興部長、小田こども部長、中塚総務調整室長、 仲学校教育室長、林教育支援室長、谷社会教育室長、渡瀬 中央公民館長、小田中央公民館主幹、河野生涯学習センタ ー所長、小倉青少年支援課長、片山主任、下邨主事 計12名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	2名
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1. 報 告 (1) 近畿地区社会教育研究大会について (2) 阪神北社会教育委員協議会研修会について (3) 阪神北社会教育委員協議会第3回理事会について (4) 平成22年度公民館講座案内(後期)について  2. 議 題 (1) 会議録の承認について (2) 年間テーマについて 「学校・地域・家庭をつなぐ社会教育のあり方」  3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

## 審 議 経 過

議長	第 5 回社会教育委員の会を開会する。
事務局	挨拶
議長	<p>1. 報告</p> <p>(1) 近畿地区社会教育研究大会について 議長・A 委員より報告</p> <p>(2) 阪神北地区社会教育委員協議会研修会について 議長・B 委員より報告</p> <p>(3) 阪神北地区社会教育委員協議会第 3 回理事会について 平成 23 年 2 月 15 日に第 2 回の研修会を開催予定 議長より報告</p> <p>(4) 平成 22 年度公民館講座案内（後期）について 事務局より報告</p>
議長	<p>議題に入る。</p> <p>(1) 第 1 回議事録について。 （全員承認）</p> <p>(2) 年間テーマ「学校・地域・家庭をつなぐ社会教育のあり方」について。</p> <p>テーマについて委員の意見、見解を述べていただき、反映させていかなければならないが、テーマが大きいので切り出しとして事務局の方に前半の論議をふまえ、感じられた部分の発言をお願いしたい。</p>
事務局	<p>地域の学校をコアにし、体制的に整えて地域がそれをささえ、学校支援地域本部にしつけの部分等をささえていただいで、本来の学校教育が機能するべく、実際の学校教育の効果を支えるために学校教育、社会教育がつながり、隔たりがないように取り組んでいかないといけない。</p> <p>縦の関係、横の関係をつくりながら、社会教育委員のご意見をいただきながら実行に移してまいりたい。</p> <p>コミュニティスクールのような形が地域教育として将来は求められるかもしれない。</p>

議長	<p>各委員に前半の論議をふまえて、学校、地域、行政の連携について意見をお聞きしたい。</p>
C委員	<p>学校支援地域本部をお手伝いし、感じたことは、いきいき学校応援団や放課後居場所づくりなどいい事業が立ち上がってきているのですが、上手く連携できてない。      もっと連携していけばうまく事業が進んでいくのではと感じました。      登録している方は、ほとんど同じ方なのでつながりを深めて行けばもっと良くなるのではと感じました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p>
D委員	<p>ある地域で小学4年生が中心になって虫を育てる活動をし、それによって学校と地域、家庭が一丸となっている地域があり、犯罪が相当減ったと聞いた。      川西市も、水あり山ありなので真似でも良いからやってみたらと思う。      虫でなくてもいいから何かきっかけがあればいいと思う。      難しく考えず、簡単なことから始めれば良いと思う。</p>
議長	<p>いい示唆をいただいたと思う。      川西市でも学校と地域が一体となって、エドヒガンサクラの保全の活動が地道に行われているが、発信力が足りないのかなと思う。      もっと行政との連携・発信力が必要ではないか。      お金がかからないで、川西の町が元気になる、文化・スポーツの部分をもっと発信すべきである。</p>
E委員	<p>現在、いろいろな現象が生じているが、親が人に責任を転嫁し、それを子どもが見て、同じような人に育っていく時代のように感じる。      責任論ばかりが表に出ているが、それをどうするかまでしていない。      以前の社会教育委員は、地域のなかに入ってドブ板活動をやっていたと聞いたことがある。      責任転嫁ばかりの風潮の中、社会教育委員としてどうすべきか、非常に迷っている。      スポーツにはルールがあり、際限があるが、社会教育の分野は広すぎるので際限がないので、コンパクトに出来ないかと思う。      人の責任でなく自分のこととして考えるべき時代にきていると思う。</p>

<p>議長</p>	<p>時代の流れと同時に大切な分野だとなおさら思う。          社会教育とはなんぞやと考えた時に、学校教育の現状を地域社会全体で考えて支援をしていく流れがあり、そのような新しい力を挙げて行くと同時に、高齢者の生きがいを持てるような部分を生涯学習の分野の中で行政サイドへ発信して行かなければならないと思う。          同時に、家庭教育の大切さ、こどもの抱えている問題に光をあてる必要性などを感じる。          責任を考えるだけではなく、家庭教育の大切さを、川西市の現状の中で行政サイドに発信していく必要があると思う。          行政の各部門では、成果はあげているが、司令塔があるようでないようで、見えないと感じる。          市の行政は、市民サイドからは縦割りであるが、まちづくり条例がでてひとつの方向性は出たのかなと思う。</p>
<p>F 委員</p>	<p>高齢化少子化が進むにつれて、街の活性化について民間レベルでの組織が出来てきている。          例えば、茨木市でコミュニティースクールというか学童保育が終わった後に、地域の方が子どもたちを見ていると同時に、塾とも連携している。          その後も、8時頃までは将棋をさしたりしている。          両親共に働く方が増えている中でそういう活動が必要ではないかと思った。          先ほどの蛍の話ですが、川西市でも、それぞれの地域で蛍のようなテーマを持って取り組んで行けたらいいと思う。          ただ、東谷地区で、黒川を活性化する話があるが、興味のない人もいるので、皆が参加するメリット、インセンティブが必要だと思う。          新しい方がどこにつながったら良いかが分かり、誰でも地域の方が参加しやすいような施設や施策が必要と思う。          ただ、草の根でつながっていくのが一番確かだと思う</p>
<p>議長</p>	<p>初めに、事務局から青少年育成の観点も含めまして、相談活動の大切さ、場づくり、地域住民の理解・連携・拡充をはかって行きたいなど、いろんな分野で発言がありましたが、各委員の発言をふまえて、事務局の方から発言をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>公開事業レビューで、こども部の青少年健全育成事業が対象となり、そこで、色々説明させていただきました。          その後、説明を聞かれた学識経験者の方から、放課後子ども教室は、国から押し付けられた事業を嫌々やっていると思</p>

<p>議長</p>	<p>っていたが、実際は血の通った事業であると思った。とお便りを頂きました。</p> <p>その時、行政としての情報発信力が弱いと感じると同時に成果を見せる発信力が大事と思いました。</p> <p>以前は、学校へのクレマーの問題を一面的にとらえていたと感じている。</p> <p>かつては、地域で子育てしてきたが、地域に定住するのが難しいといわれている現在、家庭教育の問題を母親だけの問題にとらえるべきではないと感じている。</p> <p>地域での教育をどう進めて行くか、ぜひ社会教育委員の方に提言していただけるとありがたい。</p> <p>青少年支援課は、第一線で、情報発信されていると感じているのですが、その点についてお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>放課後子ども教室など、地域と家庭で育む絆が地域に根付いている例などを青少年健全特集号として、11月1日号の広報誌に載せます。</p> <p>その中で久代小学校での放課後子ども教室で、水辺教室として学校の水槽の世話を地域の方が子どもたちに指導している取り組みを掲載しています。</p> <p>その中で、参加されている地域の方の損得ではなく地域の子のために何かしたいとのコメントも載せており、地域でがんばっておられる方の情報発信は大事だと思います。</p> <p>今は、ほとんどの小学校で放課後子ども教室を実施しており、今後は、すべての学校で実施したいと思っています。</p>
<p>議長</p>	<p>子どもの問題は家庭問題で、子どもの居場所の問題につきあたり、学校を支援して行くと家庭問題に行き着く。</p> <p>社会教育施設でも子どもだけでなく、母親の居場所づくりも含めて考えなければならないと思う。</p>
<p>副議長</p>	<p>この会に参加して、情報が届いてないと感じることが多くある。</p> <p>この会では、資料を出して貰って、情報をいただいているが、情報から感じる部分を他の人と共有することが少ないと思う。</p> <p>各場面に接している人が、言葉で発信していかないといけないと思う。</p> <p>行政では、各部のつながりが少なく、この場に来ることでつながっているにとどまっているのではないかと思う。</p> <p>各事務局が、連携していけば上手く行くと思う。</p> <p>少し話が変わるのですが、最近の子どもたちは、話を聞け</p>

<p>議長</p>	<p>るようになって来ていると感じており、学校で本を読む機会が増えたからかなと、良かったと思う。反面、受身だけでなく、自主的に行動をとれる子ども達でもいて欲しいと願ってしまいます。</p> <p>情報発信は、受信の側を考えながら、送受信両面で考えながら発信していくのが大事だと思う。</p> <p>テーマを考えると、学校、家庭、地域が、考えていること、必要としていること、困っていることを出して貰い、取りまとめて、考えていくというのはいかがでしょうか。</p> <p>この会の論議は、抽象的になりやすいと言われているが、長期的には、大切な場であると感じる。</p> <p>問題解決には、市民団体、行政を問わず地域の中で具体的に連携して行くのが手っ取り早く、そうしないと学校サイドは大変である。</p> <p>子ども支援、保護者支援が目的だが、教師が運営しやすいように考え、地域社会でいかに支援して行くか。</p> <p>それを行政が、それぞれの団体にアドバイスをしながら連携し、企画し、つなぎ役をし、少しの予算を有効的に使っていかなければならないと思う。</p>
<p>E委員</p>	<p>先生方に聞きたいのですが、学校の組織の中で、先生の不始末について報告がなく、後で問題になることもあるし、保護者が高学歴になっていることもあり、何かあるときは相当な軋轢になると思う。</p> <p>困っていらっしゃると思うのですが、理解できるような話があれば、発言お願いしたい。</p> <p>協力できるようなことがあればと思うのですが。</p>
<p>A委員</p>	<p>今、一番頭においているのは、若い教員に対する研修をどうするかに神経を使っており、情報の共有や報告はすぐできるように教育しています。</p> <p>学校・地域・家庭の連携に関してお話しますと、昨日、東谷地区の小中学校の校長・教頭・PTA総務で学校と家庭の連携について会議を持ち、反抗期の接し方、命の大切さをどう教えていくかを話しました。</p> <p>結論的には、しっかり子どもたちと向き合い話することが大事ということです。</p> <p>子どもに対して、共通した姿勢を作るとは、地域でもやっています。</p> <p>青少年育成市民会議、子ども委員会、補導委員会や、地域の文化祭、農業祭にも職員が参加し、PTA、地域の方との連携にかかわる会を多数もつようにしていますし、最近は、</p>

<p>議長</p>	<p>学校同士の情報交換する場も持っています。 東谷地区の学校では、挨拶、掃除、行事に力を入れており、挨拶や声掛けは地域にも浸透していると思います。 今日から、オープンスクールを実施しており、年間15日間、文化祭などで情報発信するようにしています。</p> <p>同時に、社会教育施設との連携の部分で、公民館展示なども連携されたいと思います。 公民館長どうですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>中央公民館を除く地区館では、コミュニティ、自治会とあらゆる場面で連携しまして、特に文化祭は地域ぐるみ、芸術の祭典といいますか、年々盛大になっているところです。 地域の学校の作品展示、ブラスバンドの演奏など行っているところもあります。 特に、緑台公民館の連携の歴史がふかく、年間事業として地域のボランティア、公民館登録グループとつながってやっていますし、けやき坂公民館も連携の歴史があります。 現在、あらゆる部門で子育てに関することをやっています、各公民館でも試行錯誤しながら進んでいます。</p>
<p>議長</p> <p>事務局</p>	<p>教育支援室からも現状について発言をお願いしたい。</p> <p>教育支援室での地域との連携は、学校安全協力員などと連携しております。 常に感じているのは、人間を自立できるように育てるのは大事なことで感じています。 教員も同じで、以前は少し先輩に聞けば解決していたことが、同僚同士で相談しても分からない、先輩との年齢差があり聞きにくい状況があります。 自分で考えられる生きる力をはぐくむというのは大事だと感じています。 連携を単に集まると捉えるのではなく、その中で計画性、組織性、継続性が必要なのだと感じます。 それにより、情報の共有化、発信も出来ますので、定期的に会合をもつのがいいと思う。 多くの部門が集まると、ずれが発生しますので、そのずれを軌道修正していくのが必要だと感じます。 地域、学校、家庭の連携を進めることは、今の時代にこそ必要だと感じます。 現在、常に成果を求められますが、少し余裕を持つもの大切だと思う。 数字は大事ですが、ゆとりがあれば上手くいく部分もある</p>

議長	<p>と思います。</p> <p>先ほど委員が言われた色々な悩みを受け入れて、相談できる場所を作らないとだめだと思う。</p> <p>心の問題や人の絆などは、データや数に表せない部分であるが、発信をどんどんする必要があると思う。</p>
B 委員	<p>キーワードは「つながる、つながり」だと思っている。</p> <p>ばらばらになりがちな地域、学校、家庭をつなげることが出来るのか、個人情報保護の問題もある。</p> <p>それぞれが信頼関係を作るように、それぞれがやるべきことをきっちりやっていくことが大事だと思う。</p> <p>学習指導要領が来年度より全面改訂になり、一番の要素は3つの学力と言われている。</p> <p>1つ目は、基礎的、基本的な知識・技能を徹底して育てる、2つ目は、それを習得の過程で活用できるように思考、判断、表現力をしっかり育てる、3つ目は主体的に学習に取り組めるような態度、課題解決能力、探究と言われている。</p> <p>それを目指してやるという大前提が、教員の思いや、子どもがそれを受けられる習慣がついているか。</p> <p>しつけ、生徒指導に追われている毎日とか、学級が崩壊しているとかの現状だと前提につながっていかない。</p> <p>この目的に向かって進められるような条件づくりが大事であり、学習要領の総則に繰り返し出てくるのが、「地域の実態に即して」とか「児童生徒の発達段階に応じて」というのが繰り返し何回も出てくる。</p> <p>学校は、地域はどうなっているのか、地域は何を望んでいるのか、地域の教育的な資源、人材を利用してその方たちの力・知恵をいただいていくのが大事です。</p> <p>それがつながって行くのが大事で、地域から離れようとしているような学校では出来ないと思っている。</p> <p>学校の教職員と地域との連携が大事という意識改革が必要である。</p> <p>学校と地域、家庭同じところへ向かって子どもを育てると言うつながり、信頼関係作りが一番大事だと思う。</p>
事務局	<p>学校地域連携促進協議会など兵庫型コミュニティスクールを県がつくろうとしています。</p> <p>モデル校が6校ほど動いています。</p> <p>川西市にも地域とつながっている学校が多くあります。</p>
議長	<p>県も種まきを一生懸命されるのですが、川西独自の部分がなければ振り回されてしまうと感じている。</p>

事務局	<p>地域協働参画というのが出来たけども、事務局の方も大変ではないかと思うし、期待と同時に思います。</p> <p>今後は、情報の共有、実践、学校支援地域本部の整理なども吟味していかないといけない。 協議なり論議していただきたいと思います。</p>
議長	<p>今回は、何が大事かを絞った形で論議したい。 同時に、昨年に引き続き、個々の方からレポートを教育委員会にあげたいと思いますので、準備をお願いします。 事務局から事務連絡等をお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県社会教育研究大会の出席確認。</li> <li>・阪神南地区社会教育委員協議会研修会の出席確認。</li> <li>・公民館の文化祭の日程について報告。</li> </ul>
議長	<p>以上で閉会する。</p>